

現在の市民病院は建設から既に 30 年近くが経過し、施設・設備の劣化が進むとともに、医療の高度化や医療環境の変化に対応するために行ってきた新たな医療機器の導入や度重なる改修の結果、特に施設の狭あい化が著しい状況となっています。

こうした状況に対応し、市民の皆様が将来にわたり高度で良質な医療を提供し続けるため、再整備事業に取り組んでいます。

1 建物概要・施設規模

所在地	神奈川県三ツ沢西町 34 番地 10 ほか	(診療棟)
	西区宮ヶ谷 25 番地 6	(管理棟)
敷地面積	[敷地全体]	29,422.81 m ² (診療棟 : 23,860.23 m ² 管理棟 : 5,562.58 m ²)
階数・構造	[診療棟]	地下 2 階/地上 7 階/塔屋 1 階 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 (免震構造)
	[管理棟]	地上 4 階 鉄骨造
	[その他]	エネルギー棟 他 鉄骨造
建築面積	[敷地全体]	13,754.98 m ² (診療棟 : 10,795.05 m ² 管理棟 : 2,959.93 m ²)
	[敷地全体]	64,400.02 m ² (駐車場合 79,645.54 m ²)
延床面積	[診療棟]	56,345.86 m ² (駐車場合 68,788.06 m ²)
	[エネルギー棟]	1,989.18 m ²
	[管理棟]	6,064.98 m ² (駐車場合 10,857.48 m ²)
施設規模	病床数 : 650 床 (うち感染症病棟 26 床)、計画外来患者数 : 1,200 人/日 (現状程度) 診療科数 : 現行 33 科の診療領域を維持	

2 配置計画

1 全体配置

- ・前面道路で分けられた 2 つの敷地に対し、神奈川県側に診療に係る主な機能を集約した診療棟などを、また、西区側に病院管理に係る主な機能を集約した管理棟 (医局・講堂・シミュレーションセンター・院内保育所等) を配置し、診療棟と道路上空の渡り廊下で接続します。
- ・診療棟の北東側にはバス・タクシーなどの車寄せとなるロータリー、コンビニストアやレストラン等を集約した便利施設棟を配置し、隣接する三ツ沢公園との連続性を持ったアプローチゾーンを形成します。
- ・診療棟の西側には、病院機能の維持に係る機能を集約したエネルギー棟、サービス棟を配置します。
- ・診療棟北側には三ツ沢公園と連続する公開空地 (横浜市市街地環境設計制度による) を設け、災害時も病院と公園の各々の機能やスペースを相互に活用できる配置とします。

2 交通計画

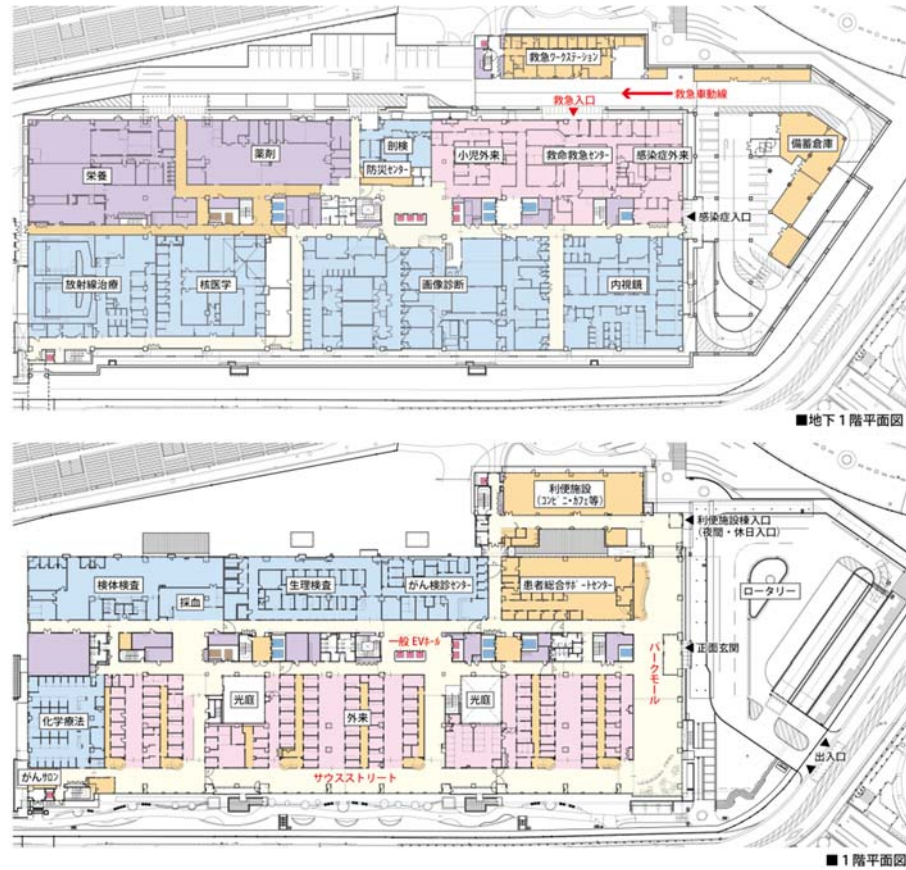
- ・歩行者と自動車、また、自家用車と救急車と物品搬入車の動線と出入口を分離します。
- ・自家用車による来院者用に診療棟の地下に約 200 台の駐車場 (管理棟を含めると全体で 400 台) を設け、車利用の患者・家族が病院中央部の地下エントランスから直接入館できる構造とします。
- ・ロータリーは主要なアプローチとなる県道 13 号線側に設け、バス停留所、タクシー乗降所を整備します。

3 診療棟

- ・東西に長い敷地形状に沿った建物形状とし、長大な建物の圧迫感を軽減するため、前面道路から十分なセットバックを確保するとともに、高層部 (3~7 階) を 3 つのボリュームに分節します。
- ・ニッパツ三ツ沢球技場に隣接するため、スポーツ観戦の歓声や夜間照明の影響の少ない前面道路側に病棟、外来をまとめて配置し、快適な療養環境を確保します。

3 地下1階・1階の計画

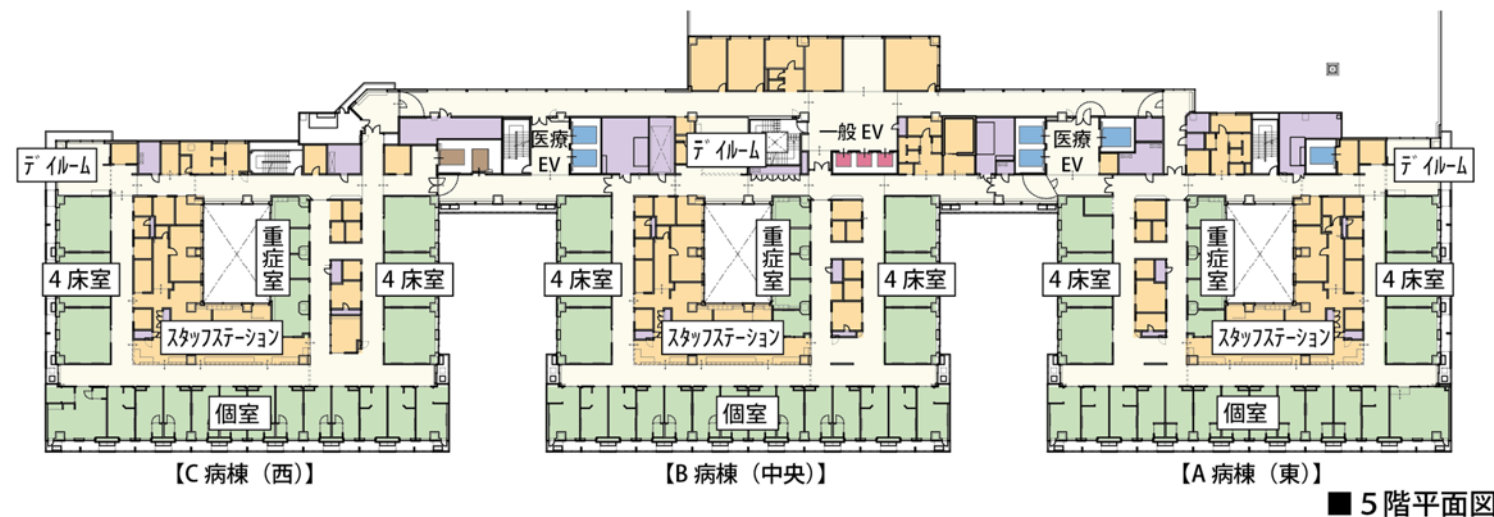
- 救命救急センター、小児外来、感染症外来を並べて配置し、救急医療、小児救急医療、災害医療を連携して担うゾーンに整備します。感染症外来は独立したゾーンとし、出入口と駐車場を分離します。
- ロータリー下の感染症外来入口前のスペースに災害用備蓄倉庫を整備します。
- 一般外来を南側に、検査部門などを北側に配置します。
- ロータリーに面した出入口と地下駐車場利用者の一般エレベーターホールの2か所にエントランスを設けます。
- 南西側に化学療法室(30床)とがんサロンを近接して配置します。
- 災害時にロータリー、外来ホール(待合)を、傷病者の受け入れ、トリアージスペース(*)として一体的に活用します。



*トリアージスペース：負傷者を重症度・緊急度によって分類し、治療等の優先順位を決めるためのスペース

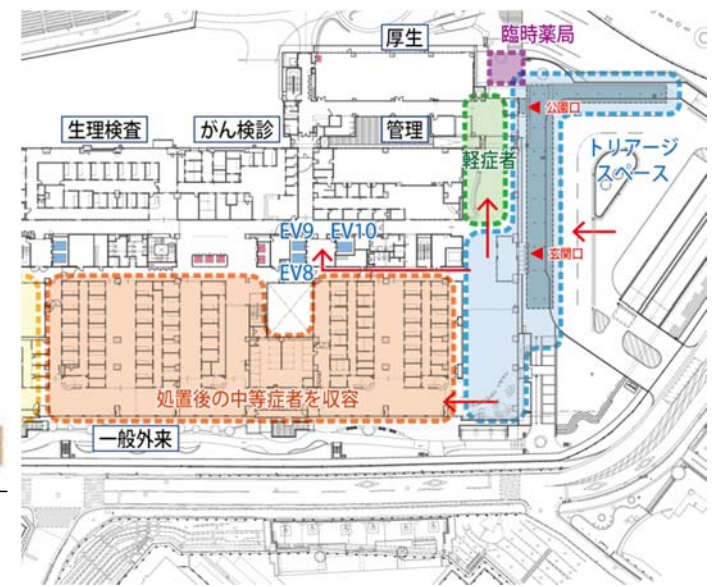
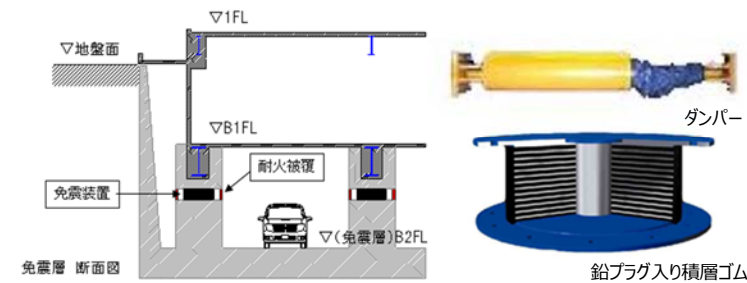
4 病棟の計画

- 3つの病棟を並列に配置し、2か所の医療エレベーターホールから搬送動線を確保します。
- 多床室は、現行の6床室を4床室とし、1床当たりの面積も、現行の6㎡から8㎡以上に拡充します。
- 病床管理のしやすさやプライバシーへの配慮から十分な数の個室を整備します。
- 1フロア共用の研修室を設置するなど、3病棟の相互利用と多職種によるチーム医療の環境を整備します。
- スタッフステーションは死角が少なく見通しのよいオープンカウンターとします。
- 重症室と個室をスタッフステーション近くに配置し、迅速な対応を可能とします。



5 災害拠点病院としての機能充実

- 診療棟は免震構造とすることにより、地震時の建物への影響を軽減し、安全、安心の医療継続を図ります。
- 屋内・屋外に災害時活動及びトリアージスペースとしての利用を想定した施設整備を行います。
- 災害時は、外部からの供給が途絶えても7日間の機能が維持できるよう、エネルギーや物資を確保します。



6 便利施設

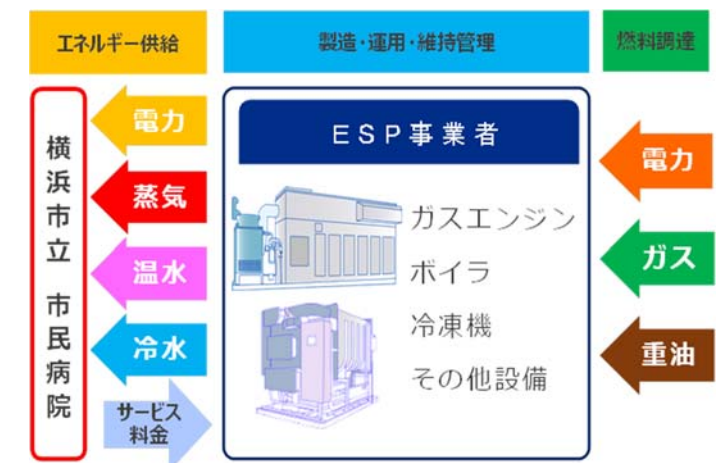
- バス・タクシー等のロータリーなど病院利用者が集中するアプローチゾーンに便利施設棟を配置し、コンビニエンスストアやカフェ、レストラン等の店舗を集約して、病院利用者・職員などの利用を促進します。
- 店舗の運営等については、公募型プロポーザル方式により4者から提案を受け、本年2月に「株式会社 ローソン」を事業予定者となりました。



7 ESP (エネルギーサービスプロバイダー) 事業

新病院で使用する電気・冷温水・給湯・蒸気の調達について、ESP (エネルギー サービス プロバイダー) 事業の手法を導入します。公募型プロポーザル方式により3者から提案を受け、昨年8月に「東京ガス エンジニアリングソリューションズ株式会社」を事業予定者としました。同社は、エネルギー供給施設的设计・施工、運営管理から病院への供給まで、エネルギー関連業務を一括して請け負います。導入効果としては次のとおりです。

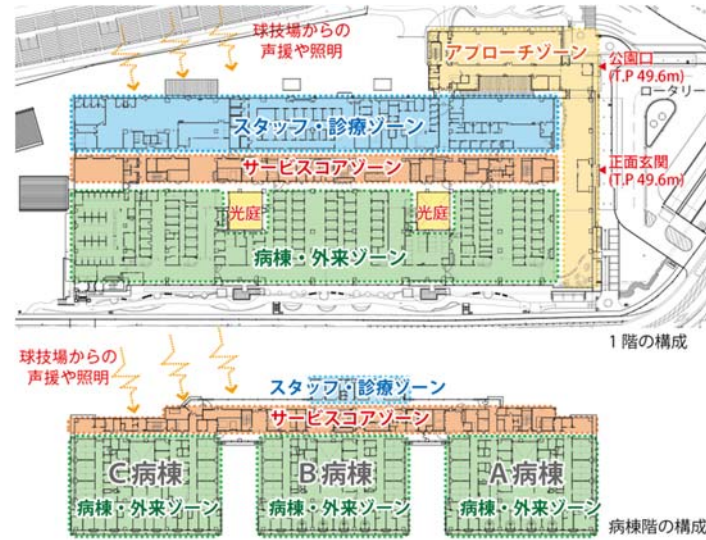
- 初期投資、建設費等の抑制を図ります。
- エネルギーの安定供給、災害時には連続7日間の非常用発電機の運転を実施します。
- 業務負担の軽減、省エネ・省コストをトータルで実現します。



市民病院再整備事業

8 4つのゾーンによる病院構成

- 正面玄関となる「アプローチゾーン」、病院の背骨となる「サービスコアゾーン」、コアを挟んで南側の「病棟・外来ゾーン」、北側の「スタッフ・診療ゾーン」の4つの構成とします。
- 病棟は住宅地に配慮して3ブロックに分節し、圧迫感の低減を図ります。
- 病棟・外来ゾーンは球技場の声援や照明の影響が少ない前面道路側に配置し、病室への影響を緩和します。また、球技場側にスタッフ・診療ゾーンを配置します。



9 合理的な部門配置

- 病院の基本的な構成要素である「病棟」「外来部」「診療部門」「供給部門」「管理部」に対して、各部門間の機能連携を考慮した配置（階構成）とします。
- 様々な機能を効果的・効率的に発揮するため、関連する部門の近接性やつながり、人や物の流れを重視した部門配置とします。



10 病室の可変性

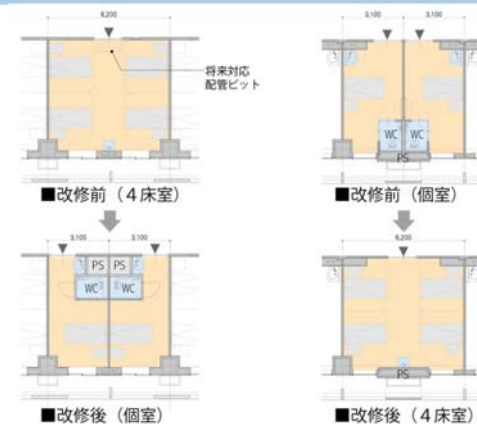
- 将来の医療環境の変化にも柔軟に対応できる構造とします。

個室から4床室への可変性

- 南側個室は、奥行き約6.0mを確保し、将来的には多床室へ転換できる計画とします。
- 4床室に転換した場合でもベッド間は1.5m程度確保できます。

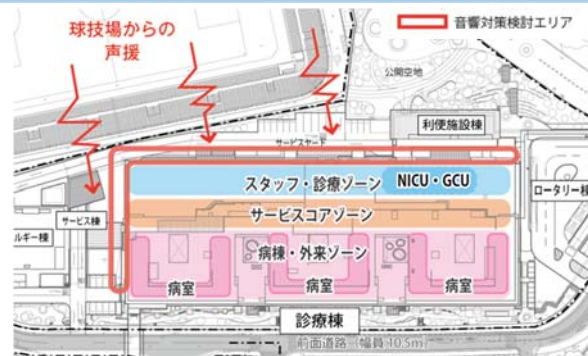
4床室から個室への可変性

- 東西面に配置された4床室は改修時に下階の天井工事を少なくするため、予め配管スペースを確保しておきます。

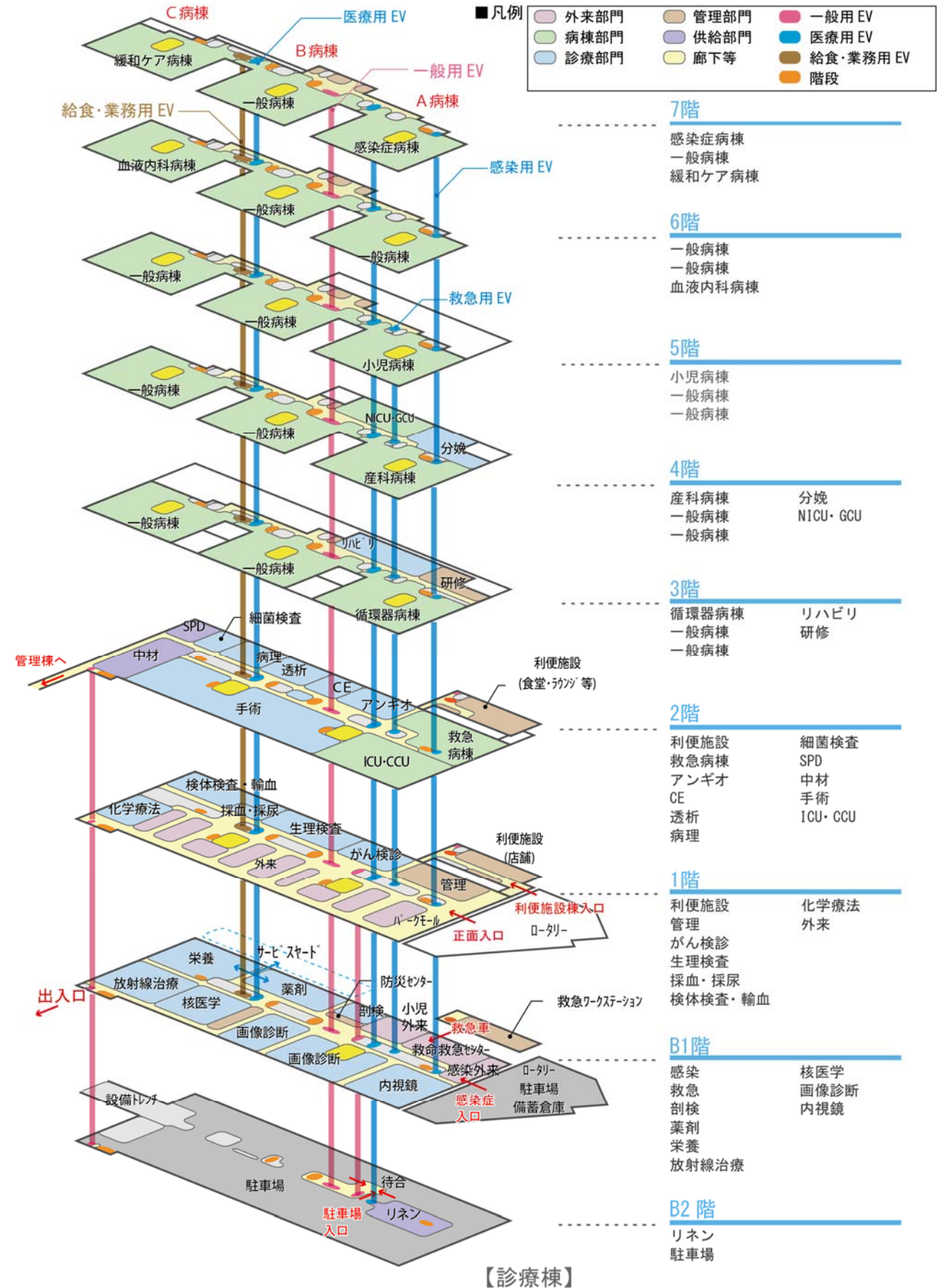


11 球技場からの音響等への対策

- スポーツ観戦の歓声の影響の少ない前面道路側に病棟・外来ゾーンを配置し、快適な療養環境を確保します。
- 最も歓声等の影響を受けやすい北側には原則として病室を設けない計画とします。
- 北面に設ける窓は音の影響を考え、極力小さな窓とし、所定の遮音性能を持ったサッシとガラスを選定します。



12 各部門構成



市民病院再整備事業

13 事業費

- 建設費 273 億円 (診療棟、管理棟の建設費であり、エネルギー棟については、E S P 事業者が建設)
- 総事業費 450 億円

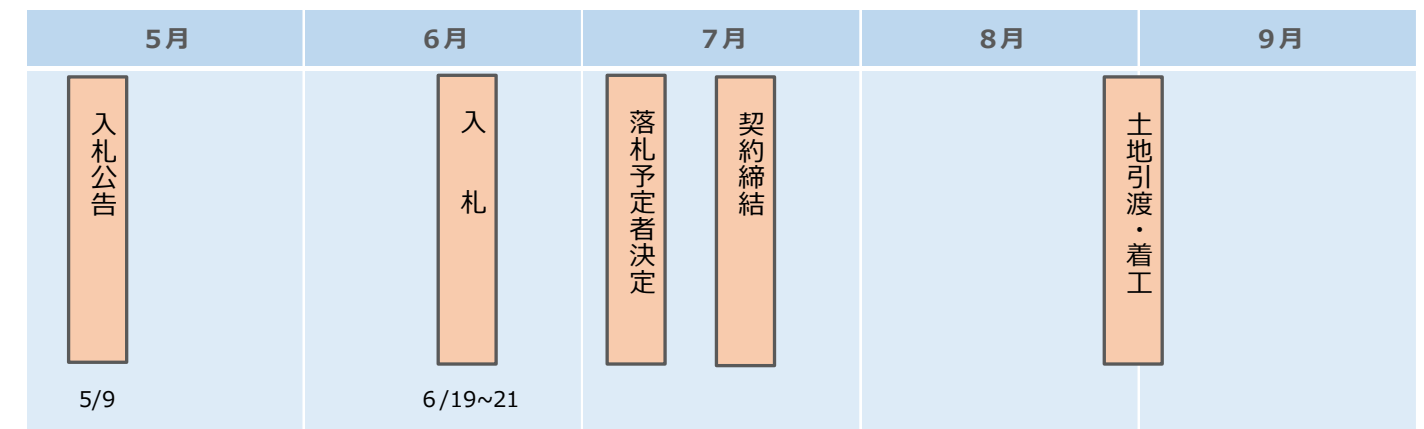
項目	想定事業費	摘要
建設費	273 億円	病院本体、駐車場、外構工事等
土地購入費	74 億円	民有地取得費
初度調弁費	58 億円	システム構築費、機器購入費
除却費	21 億円	現病院の除却費等
その他	23 億円	委託費、人件費等
事業費計	450 億円	※端数調整後の概算数値
利子負担額	25 億円	
合計	475 億円	



14 工事発注

診療棟建設工事

今年度は、診療棟の建設工事に着手します。診療棟の建築工事は契約規模も大きく、総合評価落札方式（簡易型）による一般競争入札（WTO）で行います。このことにより、業者の持つ技術のノウハウを生かすことによって、より高品質の施工を期待できます。発注等のスケジュール（建築工事）は次のとおり予定しています。



※ 建築工事のほか、電気設備工事 空調設備工事 衛生設備工事に分離して発注します。

15 事業スケジュール

